



発行所
〒107-0052
東京都港区赤坂7丁目
5番38号
公益社団法人
日本PTA全国協議会
発行人 太田 敬介
電話 03(5545)7151
FAX 03(5545)7152
ホームページアドレス
<https://www.nippon-pta.or.jp/>



この二次コードをスマートフォンなどで読み取っていただきますと、日本PTA全国協議会のホームページにアクセスできます。

企画編集協力
日本教育新聞社

綱 領

本会は、教育を本旨とし、特定の政党や宗教に偏ることなく、小学校および中学校におけるPTA活動をを通して、わが国における社会教育および家庭教育の充実に努めるとともに、家庭、学校、地域の連携を深め、児童・生徒の健全育成と福祉の増進を図り、もって社会の発展に寄与する。

主な内容

1面

- 広報委員会からの報告
- 京都府PTA協議会と神奈川県PTA協議会の取り組み

2面

- 開催予告：全国研究大会石川大会

3面

- 奈良大会実行委員会発足のお知らせ

PTAの価値を広く周知することを目指し、要望活動を行う協議会の取り組み

広報委員会では、全国から協議会が参加し、各協議会での活動情報や知見が集結するため、みんなで共に活動を活性化させるべく情報共有を図ることにしています。今回は、要望活動を行っている協議会において、特徴的な活動を実施している京都府PTA協議会と神奈川県PTA協議会の活動事例をご紹介します。

京都府PTA協議会の取り組みについて

京都府PTA協議会は、京都市を除く府内全域において活動を展開しております。さまざまな取組を通じて、PTAに関わる全ての方を支え、子供たちの健全育成や保護者としての生涯学習さらにはPTAの価値を広く周知することを目指しています。



京都府PTA指導者中央研修会の様子



パネルディスカッションの様子

近年においては、特段の要望提出は行っておりませんが、引き続き教育委員会と連携し、常に情報交換を実施しております。

また、京都府教育委員会と共催で「PTA指導者中央研修会」を開催しております。本研修会は、幼稚園から高校におけるPTA活動を担う方々を対象に、講演会や事例発表等を通して、PTA活動の更なる活性化を図るものです。

例年、国立京都国際会館にて開催しており、国際的な会議の場でPTA研修を行う機会



連携協定締結式

取り、必要に応じて要望等を提出しております。

■協定の目的

京都府PTA協議会が持つ「子供たちと子育て世代」のネットワークと、東京海上日動が有するノウハウ・知見を連携させ、緊密な情報交換を行いながら各種イベント等を実施することで、子供たちの健全な育成と成長を推進し、社会教育活動を通じて社会の発展に貢献することを目的としています。

■取組内容（今後、双方で協議の上、決定・実施）

・子供たちの健全な育成に関すること

・保護者の育児に関する知識向上に関すること

■協定の目的

今後、京都府PTA協議会は、さまざまな取組を通じて、会員の皆さまが「PTAに加入して良かった」と感じていただけるような活動を継続してまいります。

意見・要望の内容は年に1回各市町村郡PTAを通じて各学校PTA（単位PTA）へ募集します。集まった会員の皆さんの声を環境委員会内で集約し意見・要望書を作成します。完成した意見・要望書は県教育委員会生涯学習課の協力で提出し、その後それぞれの意見・要望内容に応じた担当課からの回答を集約していただき、神奈川県Pへ回答されるという手順で進みます。

意見・要望の内容は年に1回各市町村郡PTAを通じて各学校PTA（単位PTA）へ募集します。集まった会員の皆さんの声を環境委員会内で集約し意見・要望書を作成します。完成した意見・要望書は県教育委員会生涯学習課の協力で提出し、その後それぞれの意見・要望内容に応じた担当課からの回答を集約していただき、神奈川県Pへ回答されるという手順で進みます。



神奈川県 PTA 協議会
マスコットキャラクター
かなッビー

神奈川県PTA協議会の取り組みについて



神奈川県教育委員会教育長へ意見・要望書の提出

県教育委員会へ届けられる貴重な機会であることを認識し、私たちの大切な活動の一つとしてまいります。

令和6年度の神奈川県教育委員会への意見・要望の内容と回答の一部をご紹介します。ホームページにも公開しておりますので、ぜひお読みください。

令和6年度の神奈川県教育委員会への意見・要望の内容と回答の一部をご紹介します。ホームページにも公開しておりますので、ぜひお読みください。

公立小・中学校において、すべての児童・生徒が自立と社会参加に向け、個々の特性や能力に応じた教育を受けられるよう、県教育委員会では、支援が必要ない子供一人ひとりに、成長の過程をたどるライフステージに沿った支援（タテのつながり軸）と、教育、保健、医療、福祉、労働等の諸機関の連携（ヨコのつながり軸）による支援というタテ・ヨコの2つの軸で整理した、「支援シート」を連携のツールとして導入しています。

今後、市町村教育委員会と連携し、就学前から卒業後にわたり、切れ目ない子供の学びと成長をつなぐために「支援シート」を活用し、関係機関と連携した円滑な情報の共有、引継ぎを推進していきます。

開催予告

第73回 日本PTA全国研究大会

第81回 日本PTA東海北陸ブロック研究大会



石川大会

令和7年
8月22日(金)・23日(土)

大会スローガン

「サステナブルな未来づくりのために」
～ 創造と協働を 石川から ～
みなさまのご来県をお待ちしております。

小松市で開催される「お旅祭り」

令和6年能登半島地震とその後の豪雨災害に際しまして、全国のみなさまからお寄せいただきました励ましの声や多くの支援金に改めて御礼申し上げます。石川県PTA連合会では、みなさまからの励ましを力に変えて、全国研究大会開催に向けて、準備を進めております。

参加者のみなさまとともに学びを深め、改めて「PTA」の意義を再確認し、これからのPTA活動の視点やヒントを見い出すことができるような大会にしたいと考えております。

今回の石川大会は、分科会開催の各市にお泊まりいただいて、石川県の多様な魅力をみなさまにより深く知っていただきたいという思いから、石川県内6市で開催し、分科会会場が翌日の全体会のサテライト会場となる設定といたしました。

分科会

[8月22日(金)] 13時30分～16時45分 ※第3分科会は14時30分～17時30分
今回、分科会を開催する各市の特徴と併せてご紹介いたします。

■ 小松市(石川県小松市團十郎芸術劇場うらら)

第1分科会/家庭教育

歌舞伎の町として知られています。歌舞伎十八番の内「勧進帳」の舞台「安宅の関」は小松市にあります。5月には「曳山子供歌舞伎」が上演されます。また、世界的なメーカーKOMATSUも有名です。

■ 加賀市(加賀市文化会館)

第2分科会/学校教育

九谷焼・山中漆器などの伝統工芸、日本遺産に登録されている北前船、日本のラムサール条約湿地である片野鴨池などが有名です。山代、山中、片山津の3つの温泉には多くの人が訪れます。

■ 七尾市(七尾市文化ホール)

第3分科会/地域連携

里山里海の恵みあふれる七尾市。令和6年能登半島地震では大きな被害を受けました。開湯1,200年、全国的に有名な和倉温泉もまた、復興の途上です。5月に行われる青柏祭では、高さ12m重さ20tの「でか山」が2年ぶりに巡行しました。

■ 白山市(白山市松任文化会館ピーノ)

第4分科会/人権教育

標高2,702mの白山連峰から日本海まで広がる雄大な白山市。ユネスコ世界ジオパークに認定されています。多種多様な自然に育まれ、多彩な文化も魅力です。

■ 金沢市(金沢歌劇座)

第5分科会/広報活動

加賀百万石と呼ばれた城下町。「金沢城公園」、伝統的な庭園「兼六園」をはじめとした美しい景観と、現代アートの「金沢21世紀美術館」がマッチする街は、外国からの観光客も多く訪れています。

■ 野々市市(野々市市文化会館フォルテ)

第6分科会/今日的課題

東洋経済新報社が毎年発表している「住みよさランキング」で毎年上位にランキングされる野々市市。市の人口も増加の傾向にあります。市の花「椿」も魅力です。

■ 金沢市(石川県立音楽堂) 特別第1分科会/今日的課題(邦楽ホール) 特別第2分科会/今日的課題(コンサートホール)

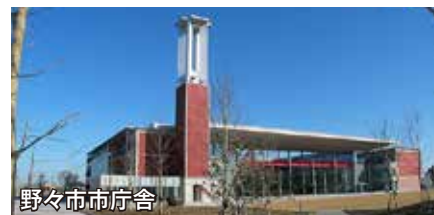
全体会

[8月23日(土)] 9時～12時20分

石川県立音楽堂コンサートホールをメイン会場とし、1日目の分科会会場をサテライト会場としてインターネット回線でつなぎ、オンライン開催といたします。



石川県立音楽堂コンサートホール



野々市市庁舎



能登半島地震の爪痕

金沢市では、兼六園近くの金沢歌劇座、金沢駅前の石川県立音楽堂コンサートホール・邦楽ホールの3つが会場となります。そのうち、石川県立音楽堂コンサートホールが全体会のメイン会場となり、他の7つの会場をインターネット回線で結びサテライト会場といたします。

分科会の構成は、子供との付き合い方を問う直す家庭教育分科会、子供の豊かな学びのあり方を見つめる学校教育分科会、防災をテーマとする2つの分科会は切り口を変えての内容です。ジェンダー教育を正面から取り上げる人権教育分科会、PTA活動における広報の魅力を深掘りする広報活動分科会、川崎大会からの流れを受け「SDGs・ウェルビーイング」をテーマに取り上げる分科会、そして今だからこそのテーマ「サステナブルなPTA活動」を構築するために、今、改めて、PTAの存在意義を問う「」で開催する分科会、どの分科会も参加いただくみなさまの興味・関心事にフィットするはずです。

ご登壇いただく方へのアプローチを終え、分科会の進行のブラッシュアップを進めていくところです。

復旧・復興の途上にあり、正直なところ思うように準備が進んでいない面もありますが、精一杯努めてまいります。みなさまのご来県をこころよりお待ちしております。

第74回日本PTA全国研究大会
第52回日本PTA近畿ブロック研究大会

奈良大会



建国の地 大和からの発信
コソヴィヴィアリティな「わ」
～挑戦するなら今シカない～

第74回日本PTA全国研究大会
奈良大会実行委員会発足のお知らせ

実行委員会の特徴

奈良大会の実行委員会は、広く募集をかけて集まった有志です。

「子供たちの未来のために、今こそ自分たちが動くべきだ」——そんな熱い想いに共鳴し、現役PTAやOB・OGなどに広く呼びかけたところ、世代や地域を超えて40名以上の仲間が集まりました。

それぞれの経験や個性を持ち寄りながら、「自分ごと」として大会づくりに取り組んでいます。

OBの中には、近畿ブロック大会を経験した方もいますが、大半の委員は初めて経験する大会です。手探りの状態から、「自分たちに何ができるか？」を考えながら、一步一步積み重ねています。

情報のインプットだけで終わらず、情報を参加者で共有してアウトプットできる仕組みを模索中です。

自分たちにできることを、楽しみながら大会を作り上げて行きます。

この思いが、全国へ届きますように。



大会スローガン

建国の地 大和からの発信
コンヴィヴィアリティな「わ」
～挑戦するなら今しかない～

メインテーマ

大和から広がる共育の「わ」
つながりを深める PTA 活動

個性を輝かせる共創の「わ」
生き抜く力を育む PTA 活動

思いやりが育む共感の「わ」
こどもまんなかの PTA 活動

大会のスローガンは「建國の地 大和からの発信 コンヴィヴィアリティな『わ』」と挑戦するなら今シカない」。本大会は「コンヴィヴィアリティ(自立共生)」という言葉に象徴されるように、多様性を尊重しながら共に支え合い、つながりを深める社会の実現をめざす P T A 活動の理想を、奈良から全国へ発信する大会となります。

メインテーマの「わ」は、「共育の『わ』」「共創の『わ』」「共感の『わ』」という3つの視点を揚げ、「和」はお互いの尊重、「輪」は人と人とのつながり、そして「話」は対話と共感の大切さを意味しています。また「わ(笑・我・羽・湧・環)」のよう

に、日本の文化的価値観を表す文字も多く存在します。

現代社会において、「わ」は、共に成長していくための重要なキーワードになるのではないのでしょうか。

本大会では、大人自身が成長と喜びを、実感できることを目指しています。子供たちの未来を支えるPTAの意義を共に再確認してみませんか。

8つの分科会会場

会場は天理市の「天理大学杣之内第一体育館」を全体会場とし、分科会は会場の「ロマンチック原市の」大和高校の「さざんか」田市の「さざんか」



ホール」生駒市の「たけまる
ホール」など、奈良県内各所で
開催予定です。

開催日は2026年8月21日(分科会)・22日(全体会)の2日間で、学校教育・家庭教育・地域連携・広報活動などの多彩な分科会を通じて、実践や課題を共有する機会が用意されます。

日本PTA担当や文部科学省協力による特別分科会も予定されており、湧・輪・羽・笑・話・倭・環・和という本大会キーワードの「わ」を掲げた分科会会場は、全部で8カ所になります。

で、ぜひご覧ください。会場決めの一助になると幸いです。

 **みんなの想いを形に**

本大会の実行委員会は、募集で集まった有志です。前向きな姿勢の委員が多く、様々な意見が出てくる特徴があります。スローガンやキーワードを決める際も、次々と意見が飛び出し、イメージが広がっていきましました。

本大会のチラシも、実行委員会で作成した「みんなの想い」を形にしています。建国の地をイメージしたデザインと、コンヴィヴィアリティな「わ」を、8つの分科会会場に合わせて、それぞれの色と様々な「わ」の文字で表現しています。

奈良らしさを演出するために、背景に天平模様を用いて古都奈良を強調。伝統を重んじながらも、新たなチャレンジも追求する。そんな実行委員会の想いを形にしたチラシとなっています。

今後はPR動画やホームページでも、想いを届けていく予定です。「建国の地 大和からの発信」をお楽しみに。

 いざ奈良へ!!

「今、子供たちの未来のために、私たち大人ができることは何か?そんな問いを胸に、奈良大会の準備が動き出しました。

子供たちの未来を、本気で守りたい。

今こそ、私たちPTAが一丸となって動き出すときです。

歴史の風が吹く奈良の地から、全国へ――

多様性を認め合い、支え合い、響き合う「コンヴィヴィア

リティな「わ」を届けたい。

分科会も全体会も、それぞれの会でそれぞれの「わ」を探り、内容を練り上げていく。真っ最中！

前例にとらわれず、新しい挑戦を続けながら、「今だからこそこぞめる大会を目指します」。

檀原市にある、檀原神社は「日本建国の地」とされ、神武天皇を祀っています。また、桜井市にある大神神社は「日本最古の神社」として知られています。

他にも有名な奈良の大仏や、平城京跡、法隆寺などの歴史的建造物。また飛鳥や吉野など、自然豊かな場所も見所のひとつです。奈良は歴史溢れる日本始まりの地。

万葉の息吹を感じるこの地で、心も身体もリセットされるような時間を過ごしてみませんか？

古都奈良に触れ、心を整え、語り合いましょう。

「挑戦するなら今シカない！」胸を張って、未来へ踏み出すその一歩を、こぞ奈良から。皆様のご参加をお待ちしております。——ごぞ奈良へ——

